

春らんまん

写真提供
大森正憲氏(S29卒)

ハナモクレン



東京修猷会

題字・松尾金蔵書
発行
修猷館同窓会東京支部
事務局
東京都豊島区高田
2-16-21 吉田ビル3F
株式会社学舎研究所 内

益々盛大な修猷会に

東京修猷会会長 有吉 新吾

私は昨年六月末の総会で東京修猷会々長に就任いたしました。なにしろ昭和四四年卒の高齢です。どこまで勤まるか自信はありませんが皆さんの応援を得

て頑張ってみようと思っております。

さて明治四年、廃藩置県で廃校になりました藩校修猷館は同十八年、県立英語専修修猷館として復活いたしますが、その間という経過を辿ったかと申しますと、先ず玄洋社の向陽義塾が生まれ、



りまして、その教授陣には当時の一流の学者を揃え、外国人数名をも教授陣に迎えるといった大変進歩的な学塾でありました。また英語専修修猷館に至っては物理、数学等全学科を原書で教えるという日本語を使わなかったというのですから修猷館の伝統の中には質朴剛健と並んで大変進歩的というハイカラな面があるものであります。そしてこの伝統は其後幾多の環境変化がありましたが、恐らく今も脈々と残っているのではないのでしょうか。

これが黒田家の藤雲館に引継がれ、これを基に金子堅太郎伯等が奔走されて英語専修修猷館が誕生するのであります。この向陽義塾にしても藤雲館にしても、新知識の吸収には大変熱心であ

いかなる時期の卒業生でも、修猷館にはそれぞれなつかしい思い出があるのだらうと思えます。それでこそわれらが母校であります。私が在学しておりました頃には、平山先生という

高齡の英語の先生がおられまして、この先生は黒田藩家老職の家柄で平野国臣とは従弟だそうですが、ピンと髭を生やし羽織袴で授業をされました。また謹厳剛毅な漢文の益田老先生から教わった『大学』の『慎独』の講義は今でもよく覚えておりますが、この先生は秋月の乱で処刑の憂目に会った益田静方のご子息で、お祖父さんが前記藤雲館の漢文教授をされていたという因縁の方であります。そのほか夏の鶴来島遠泳や乃木將軍の殉死を追悼する深夜の太宰府行軍とか、年をとっても思い出は鮮やかに甦って参ります。

世界中の若い強豪が競いあう美と躍動の12競技です

陸上競技・バスケットボール・フェンシング・体操競技
競泳・飛込み・水球・テニス・バレーボール・サッカー
柔道・野球



〒1995年ユニバーシアード福岡大会組織委員会
☎(092)733-5200(代表)

新時代へ希望の芽を育もう

今、福岡は面白い！

修猷館同窓会会長 竹村 茂昭



昨年五月の同窓会総会で清沢先生の後を受けて会長を引受けることになりました昭和二年の

く埋立てられた百道浜への学校移転問題(之は中止になりました)等々先輩の驍尾に附して色々勉強させて戴きました。

世界はソ連邦の解体、ECの統合等大きく揺れ動いておりますが、我が修猷館は昨年二〇五年事業として名簿を発行した外は通常の歩みを続けております。

竹村です。私と同期で副会長をしておりました西島寛君の後に副会長になりましたから約十二年経ちます。この間二〇〇年記念事業、特に菁莪記念館の建設又は其の後に起こりました新し

昔のように文武両道で頑張れと声を大きくしておりますが、文の方はともかく、武の方は余り振わず申し訳ない次第です。

最近、「福岡は面白い」と言われていますが桑原敬一市長(昭

十五)の活躍で天神界限の変貌は眼を見張るものがあります。またアジアの拠点としての福岡、海に開かれた福岡というキャッチフレーズで博多埠頭付近も変りつつあります。ヨカトピア博覧会の成功に次いで一九九五年のユニバーシアードの誘致も出来、市長大いに張り切っております。この中に柔道種目もありますが最近人気の所謂「やわらちゃん」、今高校一年生です。これに役立つことになりましょう。

昨年末宮内閣の成立により山崎拓君(昭三〇)が建設大臣に就任しました。修猷館としては久しぶりの大臣というので一月十二日に同窓会で祝賀兼激励の会をやりました。今後の大成を期待している次第です。

いま、世界中の熱いまなざしが、福岡に向けられています。ユニバーシアード福岡大会の成功のために、皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。



スポーツは かるく国境を越える
1995年ユニバーシアード福岡大会
(1995年8月23日～9月3日)

“学生のオリンピック”といわれるユニバーシアードは、スポーツを通して世界各国の学生たちが交流を深め、相互理解と親善に大きな役割を果たすことを目的とした総合スポーツ大会です。

このユニバーシアードが、1995年(平成7年)に福岡で開催されます。

日本の教育

我が国は、戦後の廃墟の中から驚異的なスピードの経済成長を成し遂げた。そして、僅か半世紀前からは想像も出来ない豊かさが我々の周囲に満ちあふれている。しかし、それが故に同時に我々の社会内に多くの歪みと問題点を内蔵するに至ったことも事実である。『教育問題』は、公害問題等と共に我々が改善を迫られている課題のひとつと言えよう。

そして、教育問題に関しては世毎にいちじるしくその意見を異にするのが実状である。我が『東京修猷会会報』に於いては、我が同窓生の世代代表の意見を並べ、皆様に御覧戴くことにした。

本来、この種のテーマは座談会形式にするのが適当かとも思われるが、今回は敢えて『意見』を並列に並べる形をとった。それは編集上の都合ということでお許しを戴きたい。御意見をお寄せいただいた各位に心から感謝申し上げる次第である。

『什長』

『前什長』

君島芳郎 (S17卒)



私達が福岡県中学修猷館に入學したのは昭和十二年である。入學当時、先生方が修猷館は中学であつて中学校ではないことを強調されたのを思い出す。『学』はまなぶ、学問であり、『校』はただ、人格の形成である。本来、藩学修猷館は藩士とその子弟のための学問所であつて、『校』は自分自身の錬磨に委ね、『学』に専念したものと思ふ。中学修猷館はこの伝統を受継いだものであろう。我々の在學時は質実剛健の風が横溢し、文武両道兼備の素晴らしい中学であつた。

『学』を重んじたことと関連してか、当時の中学修猷館には今の修猷館高校にない制度があつた。教室の席順を成績順に並べたことである。新學年になると、組替えが行なわれた。この時、前年の成績が一、二、三、四、五番の者が一、二、三、四、五組の組長に任じられる。以下席次の末尾が一、〇の者が一組に、二、九が二組、三、八、四、七、五、六の者が各々三、四、五組というように全員が規則正しく配分され、各組の学力のバランスもうまく取られた。

各組の組長の席は最後列の一番右の席である。その隣から最後列を右から左へ、次いで二列目、以下も同様にして最前列まで全て組内の成績順に席が配置された。教室に入つて座席を見れば各人の前年の席次が正確に分つた。そして組長を除く最後列と組長の直ぐ前の者は『什長』に指名された。十人の長という意味で、所謂列長であり、組長の隣から第一、第二、第三、第四什長と呼ばれた。

組替えは學年の初めだけだが、各組で學期毎に組内の席次に従つて席替えが行われた。組長は一年間変わらないが、什長は組内の什長



奥村秀郎 (S26卒)

戦後我が国は、行政も企業も個人も、がむしゃらに経済成長を求めて走り続け、人間として大事なものを振り落としてしまった。もう一度原点に帰つて『真の豊かさとは何か』ということを考えなければならぬ。

テレビ公害、学校が、社会が悪いなど原因を探れば限りなくあるが、今大切なのは一人一人の自覚と実行である。

人間の人格形成は八才位までの幼児期に決まる。その大切な期間をたらかしのしなないで、親の暖かい愛情を注ぐことから始めることが素晴らしい人間づくりの基本であらう。

子供時代は情操豊かに

やさしい子守唄、わらべ唄、昔話これらは素晴らしい伝承文化であり、心をなごませてくれる何ものにも勝るものである。更に少し成長した段階で、両親が絵本や世界・日本の名作童話を読んであげれば、その後は自然に読書をするようになる。テレビの過激でなく行間にあるいろいろな情景を自分で描くことぬより、豊かな心が育まれてくるのである。また、家の近くを手をつないで散歩する。美しい花が咲いていれば、その美しさをほめ



る。すばらしい木や林があれば、木の効用を聞かせる。

たまに旅行した時は、自然の営みの大切さを理解させる。夫婦の語り、食事の楽しさ、身体的基础をつくる栄養物を好き嫌いのないように食べて貰う工夫など、親と子の絆を強くすることが心の豊かな人間を作るのではないかと考える。

夢物語 「私立・修猷館」 大宅憲一 (S40卒)



「富士山麓に全寮制の私立・修猷館を創設しようではないか。初代館長には、アルビン・トラー著作の監訳者であり、もちろん修猷館の先輩でもある徳山二郎氏を招聘できないか。起業家精神をもった誰か一人、本気になる人間がいれば、実現できそうな『夢』なのだ。――首都圏周辺に、私立・修猷館が誕生すれば、わが息子たちも是非……」はなはだ動機の不純(?)なこの話は、数年前「創立二〇〇周年」の頃に、同期の幾人かと交わした酒飲み話である。当時、お互いに小学生や就学前の子供をかかえており、とりわけ首都圏在住の友人たちの間では、結構盛りあがった。『有志で、創設構想私案』でも作成して、二〇〇周年のイベントにぶつけてみるか」と話は発展したが、所詮は酒飲み話、それきりの『夢物語』で終つた。

あれから数年、わが三人の息子たちも、高三、中三、小六と、まさしく思春期と真中である。そのせいかどうか、最近、時として自分自身の修猷館時代をふり返り、彼らの様子と重ね合わせてみることもある。修猷が『自由』であつたということと良き『友人』に出会えたことが特に印象深い。人生の中で最も多感な時期、あの環境の中で三年間過ごせたことを、私は本当に感謝している。願わくば、わが息子たちにも、通っている学校に対してそうし

た記憶を育んで欲しいと思う。人間の自我の形成にとつて、思春期をどう過ごすか、ということは、とても大切なことなのだ。

いま息子たちやその友人たちを垣間みている印象で言えば、彼らは彼らなりになかなかしぶとく育っているようだが、真に刺激的で、もつといい環境を用意してやれるのではないかと、とも思う。まして現在が幕末から維新、敗戦から戦後復興に匹敵、いやそれ以上の大いなる歴史的転換期である。大人たちにとつてもいま、『人間を育てる』ということとは、極めて魅力的なテーマに違いない。あの話、酒飲み話や夢物語で終らせるのではなく、端緒くらいつくっておくべきだったかもしれない。修猷館の卒業生、教鞭をとられたすべての先生方、そして現役の諸君へ向けた『私立修猷館』はどんな学校でなくてはならないか」というテーマの大アンケート作戦あたりから、瓢箪から駒、プロジェクトはスタートしたかもしれない。

同期の田中俊雄君から、この原稿のお鉢が回ってきた時、たまたま徳山二郎氏の著作『未来を今生きる』(中公文庫)を読んでいた。数年前の『夢物語』を思い出してしまつた。――本当に誰か一人、自分の人生の作品として、このことに本気になる人がいないかなあ、素敵だと思ふんだ。

(株)社会工学総合研究所 SOCIAL VENTURE INC.

- 都市計画
- 環境アセスメント
- 産業動向調査
- 技術調査

代表取締役 高橋 章 (昭和41年卒)
〒171 東京都豊島区高田2-18-21
☎ 03-3988-1866
FAX 03-3981-0416

東京在住同窓弁護士有志

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 弁護士 寺嶋芳一郎 (昭和15年卒)
☎〇三―三五四三―六五四七 | 弁護士 淵上貫之 (昭和26年卒)
☎〇三―三三七七―八四八一 | 弁護士 杉本昌純 (昭和28年卒)
☎〇三―三五七二―六八六八 | 弁護士 増田 修 (昭和29年卒)
☎〇三―三五七三―四〇八一 | 弁護士 桑原 収 (昭和29年卒)
☎〇三―三二二一―二六五五 | 弁護士 西嶋勝彦 (昭和34年卒)
☎〇三―三五八六―三六五一 | 弁護士 吉村茂樹 (昭和34年卒)
☎〇三―三八七〇―二〇五六 | 弁護士 安田 彪 (昭和36年卒)
☎〇三―三二〇一―三四〇四 | 弁護士 野上邦五郎 (昭和37年卒)
☎〇三―三五九五―二七一六 | 弁護士 高木佳子 (昭和38年卒)
☎〇三―三二二一―二四四七 | 弁護士 久保田康史 (昭和39年卒)
☎〇三―三四三一―八三九一 | 弁護士 西島 正 (昭和42年卒)
☎〇四―二六―四五―二一八一 | 弁護士 山下 淳 (昭和51年卒)
☎〇三―三四七五―一六三一 |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|

特集

どうなる
どうする

女性の社会進出と教育問題

松尾 守 (S28卒)

国民全体が語り、行政も現場の先生方も懸命の努力をしておられることと思う。がしかし、一向に光明が見えてこないのが教育問題だ。登校拒否感情を持つ子供の増加、陰湿ないじめ、校内暴力、乱塾時代、際限のない諸問題、むしろ事態は悪化しているのかもしれない。

ここでは、女性の社会進出と教育問題について少しばかり考えてみたい。

昨年、ニューヨークへ出張した際、現在、アメリカで最も有名なニュースキャスターとして名実を高いロバート・マックニール氏の講演を聞く機会に恵まれた。彼は衛星放送で、今や、日本の茶の間に、お馴染みだ。演題は、「凋落したアメリカの企業競争力を取り戻すためには」というようなものだった。細かいことは忘れたが、話の主要な部分は、アメリカの教育問題の深刻さを強調したものであった。均整のとれた顔立ち、毅然とした眼差しに、やや冷たさを感じさせる彼が吐き捨てるように言っていた。「この国の教育問題は、一体、どうなっているのだ。子供達の面倒を誰が真剣にみているのだ。教師は二流・三流の人間がやっている。例えば、それが証拠には、SAT(全米大学入試の適性検査)のス

教育現場から

井手俊次郎 (S36卒)



今、学校では、将来が懸念される現象が顕著に現れてきている。公立離れ、私立志向の加速であり、中高一貫教育が受験に有利と

いうのが定説となった感すらある。又、勉強離れ、特に理科系離れが進行し、高校中退者数が十二万人を突破するなど、社会問題化している。社会の基盤が一人一人の人間にあり、その人間の根幹を成すものが教育であるとすれば、教育問題は重大な社会問題である。教育現場から、一つの考察を試みたい。

教育は親と教師の両輪で

中高一貫教育だが、六年間で学ぶ内容を五年間に短縮し、一年を受験対策にあてている。能力の高い生徒にはよいが、普通の生徒にはついていくのが精一杯というのが実情であろう。余程しっかりした教育課程と授業展開を行わなければ、勉強離れを加速させることになる。又、子供の問題行動の原因としては、

「本人の甘え」「我儘」と「家庭内部の問題からもたらされる情緒の不安定」が多数を占める。学力は、親の経済力、親・教師の指導力(親は子供にとって最大の教師であると同時に、精神的支えとしての大きな役割を担う)と本人の努力の総和である。又、子供は潜在的に親との関わりを求めている。子供は両親と教師が車の車輪のように育んでいく

ものというのが私の持論である。しかし、学校は集団教育の場という性質上、生徒個々の内面までは、なかなか目が行きとどかない。学校教育に限界があることは、自ずから明白である。ところで、家庭教育はどうだろうか。日本には豊かな国になった。しかし父親は忙しく母親も働きに出て、子供との関わりが充分

に与れない家庭があまりにも多い。週休二日制も、女性の社会進出も、子供と親の関わりはどう影響するか、この視点を抜きにしては考えられない。「放牧牛」は、一定の期間の後肥え成長して帰ってくるものであるが、人の教育にそれと同じ結果を期待することはできない。教育の本質は、百年経っても朽ちない知識、発展性のある知識を教材として、次

アメリカで最も高い評価を受けたのは、母親の職場進出が、いかに、子供の教育を犠牲にしたものかを指摘したものであった。誠に、注目に値する。日本でも、昨年の経済企画庁の調査によれば、首都圏の男女六〇パーセントが、ダブルインカム・ノークイズ指向になった。筆者は、母親は家庭に戻って教育ママになったら、という気は毫もない。ファッション、グルメリ、流行の車、ホンコン、パリのショッピング。ダブルインカムの目的は、よもや、こんなことではないだろう。少数の例外と言えようか。経済大国から「暮らしの大国」への合言葉が聞こえてくる。言葉の響きは結構だ。ダブルで稼ぎ、「より良い暮らし」への終りのない欲望から、もう、そろそろ眼を覚ましたものだ。教育問題は、究極のところ、我々、大人たちが、それぞれの人生で、生きることの意味を静かに問い直すところにきていないだろうか。物に包まれすぎた我々は、今や、この問いに對峙すること自体が、むずかしくなっているかもしれない。が、経済大国から暮らしの大国へ。いずれ又、暮らしの大国になったとて、何となくの空しさを覚える時がくるだろう。読者諸兄は、暮らしの大国の次の国を何大国と呼ぶれるのだろうか。今、それを考えることが、今日の教育問題を考える時の出発点にならないだろうか。年の初めの放談拙文をお許し頂き、御批判、叱正を乞いながら、おわりとしたい。

↓二百年を越える修猷館の歴史の中で、われわれの学年は特異な存在であろう。戦前型の教育と戦後のアメリカ直輸入の自由主義教育との間で、戸惑い翻弄された。しかも昭和十九年四月から二十五年三月まで、つまり中学・高校の多感な六年間を修猷館で過ごした。戦争中が重い任務と「忠君愛国」の思想で、がんにがらめのしがらみの中で閉塞状況にあっただけに、戦後直後の一時的な空白期を乗り越え、戦後のエネルギーの開花は凄まじいものであった。栄養不良の乏しい食生活のなかで、スポーツ、部活動そして進学へと情熱を燃やした。アメリカナイズされた自由主義下とはいえ、食育のように新しい知識、文化を求め吸収した。そこにはガリ勉型の生徒はいなかった。自らの欲求のままに若い力を発散し、躍動させた日々があった。

わが年代の教育観

修猷25会卒業40周年記念誌『チンチン電車を運転した少年たち』より

たことだろうか。僕らの頃は教科書はあったけれど、教科書についての記憶はほとんど残っていない。西村先生の講義調西洋史の講義、平田先生のフロイト学説、どの先生も「物理部」のクラブ活動と称して、授業時間中に気象観測のため、教室を抜け出すことを許可してくれた。

(中略) 校内暴力、登校拒否、進学問題、教育関係の新聞記事を読むとき、修猷館の頃のことを思い出してしまう。僕らの修猷館の六年間は、きつと平和な青春時代だったと思う。(濱田 桂一)

↓われわれには目的があった。二度とこんな悲惨な社会を作ってはならない。戦争は悪だ。今より一歩でも前進して平和で豊かな社会を作りたい。意識、無意識のうちに一致した確信を持っていた。

現代の青少年は、豊かな環境に恵まれ、欲しい物はほとんど手に入る。だが目的をつかむことができない。何か物足りなく、心に穴があいている。これを埋める方策を持たない。これは大人にも責任がある。次代を引き継ぐ青少年に役立つために、われわれの経験を生かせる道はないのか、考え込んでいる昨今である。(田坂 浩)

貿易

宮川企業株式会社

社長 宮川 一二 (昭和12年卒)

〒105 東京都港区芝2-5-7

芝J・Iビル

TEL. 03(3455)6701

テレックス 242-6784 SIBMYK.....J

ファックス 3798-1793



環境・施設・物／企画・デザイン

株式会社 イルフ 代表取締役 田中 瑛 (S33)

107 東京都港区南青山2-7-26 TEL. 03-3402-9072



楽しいSnackには生の音楽と歌!

カフェテアトル
2つの部屋には

洒落た芝居!

一度いらしてみませんか

楽しいSnackとカフェテアトル



〒171 東京都豊島区西池袋3-30-10 ライオンビル地下
電話 03(3984)3917

文化

随想



とっておきの話

広渡 勲(S34卒)

一月一日ウィーンのムジークフェラインザールから全世界へ衛星中継されたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤークンサートは、今や、年末の「第九交響曲」と並んで正月恒例の音楽行事として、すっかり我が国のクラシック音楽ファンの中に定着してしまいました。特に今年は、カラヤン、バースタイン亡き後世界最高の指揮者といわれるカルロス・クライバーが、一九八九年にひきつづき三年ぶり二度目の登場をして話題を呼びました。一枚二十万円の越えといわれるやみ切符の値がインフレ化するのをふせぐためと、また一方、キャンセル魔といわれるクライバーの気分が変わるのをそれたウィーン・フィル側が、指揮者の名前をぎりぎりまで公表しないという異常な事態となりました。

ウィーン・フィルのコンサート・マスターでさえ、家族のチケットを購入するのがむずかしいこのコンサートは、元日夜のNHKテレビで実況生放送されましたので、きつと大勢の音楽ファンが、彼の優雅で華麗な棒さばきに酔われたことと思います。世界に名だたる歌劇場や、ベルリン・フィルをはじめ、ウィーン・フィル自身も数年前、リハーサル途中で忽然と練習所から消えられた苦い経験を持ち、観客の多くも彼の場合はじめからキャンセルというリスクを承知の上で入場券を購入するといわれています。エーリッヒ・クライバーという名指揮者を父に持ったこの希有な天才指揮者は

「ミラノ・スカラ座」引越公演で来日したのが二度目の出逢いになりました。この時の私は製作総監督として四〇フィートのコンテナ五〇本(大型トラック約一〇〇台分)でイタリアから運ばれてきた膨大な舞台装置をさばく技術的な部門だけでなく、総勢六〇〇人の来日メンバーと二〇〇人の日本側参加外エキストラの移動から宿泊の面倒まで見なければならず、また、リハーサルや本番のスケジュールなどを全てにわたって、マネージャーを持たないクライバーと直接交渉しなければならぬ立場にありました。欧米の多くの歌劇場関係者から彼のむつきさをいやという程聞かされ、極度の緊張状態で仕事にのぞんだ私でしたが、私の心配をよそに不思議な程何の問題もなく公演は順調に進みました。実際彼は公演終了時まで契約書にサインをしないことでも有名なアーティスト(世界でも唯一?)ですが、約束の東京公演の七回を無事振りおえ、契約外の大阪公演の初日にまたまた思わぬハプニング

がおきてしまいました。忘れもしません九月二十五日場所は大阪フェスティバルホール。演目はプッチーニの歌劇「ラ・ボエーム」。第四幕、胸を病んだ薄幸のヒロイン、お針子のミミが瀕死の床でせつせつと歌い、満場の観客の涙をさそっている場面

で、突然、あろうことか、舞台の右手後方からとつともない悲鳴が聞こえてきたのです。それが人間の声でなく動物の声だと分かるのに時間はかかりません

リア人らしい素早さでした。気も動転した私は、立場上逃げることも出来ず思いきって謝るのが第一とオーケストラ・ピット

の入口で彼の好物の缶ビールを手に、彼が出てくるのを待っていました。数分が数時間に思える程それは長く感じられました。彼にはあと二回、エキストラの公演を振ってやらなければならぬ。これが原因でキャンセルされてしまったら大変なことになる。汗びっしょりの長身

うおまけがついたね。人一倍妥協を許さない完璧主義者の芸術家の口を通して出てきたこの一言、人間の感情によって生じたミスは許さないがヒューマニズムにささえられた不可抗力のハプニングにはユーモアできりかえすこのイキな一言に、彼の芸術家特有のテンパメントな性格と気むずかしさを持ちあわせてはいますが、実際はシャイでとても人間的な人です。そして彼の創り出す音楽は他に比類のない素晴らしいものです。私自身もその喜びを音楽ファンの方達と共有出来るしあわせをいつも望んでいます。そのためにも、私達が本年から一九九五年まで四年間にわたって開催する世界オペラ・フェスティバル(一九九二年英国ロイヤル・オペラ、一九九三年ベルリン・ドイッツ・オペラ、一九九四年ウィーン国立歌劇場、一九九五年ミラノ・スカラ座)に御期待と御協力を願う次第です。

名指揮者(カルロス)とハプニング

五分間も続いたその声の主は、第二幕で登場したロバだったのです。この日会場の外はミニ台風で、激しい雨が降っており、通常は出演後会場の外に出しているこのロバを、イタリアのスタッフが可哀想に思っ

て会場の中に留めおいたのが原因でした。イタリア人らしい思いやりなのですが、クライバーの怒りをおそれ、関係者全員が終演を待たずにいっせいに姿を消してしまつたのもまたイタ

リヤ人らしい素早さでした。気も動転した私は、立場上逃げることも出来ず思いきって謝るのが第一とオーケストラ・ピットの入口で彼の好物の缶ビールを手に、彼が出てくるのを待っていました。数分が数時間に思える程それは長く感じられました。彼にはあと二回、エキストラの公演を振ってやらなければならぬ。これが原因でキャンセルされてしまったら大変なことになる。汗びっしょりの長身

うおまけがついたね。人一倍妥協を許さない完璧主義者の芸術家の口を通して出てきたこの一言、人間の感情によって生じたミスは許さないがヒューマニズムにささえられた不可抗力のハプニングにはユーモアできりかえすこのイキな一言に、彼の芸術家特有のテンパメントな性格と気むずかしさを持ちあわせてはいますが、実際はシャイでとても人間的な人です。そして彼の創り出す音楽は他に比類のない素晴らしいものです。私自身もその喜びを音楽ファンの方達と共有出来るしあわせをいつも望んでいます。そのためにも、私達が本年から一九九五年まで四年間にわたって開催する世界オペラ・フェスティバル(一九九二年英国ロイヤル・オペラ、一九九三年ベルリン・ドイッツ・オペラ、一九九四年ウィーン国立歌劇場、一九九五年ミラノ・スカラ座)に御期待と御協力を願う次第です。

電話をかけてくれるような間柄になりました。大変名譽なことだとうれしく思っております。さいわいにも三〇年間にわたる私の仕事を通じて実に多くの偉大な芸術家と知りあうことが出来ました。その中でも三人をあげろと言われれば、バレエのモリス・ベジャール、ピアノのグニエル・パレンボイム、そしてこのカルロス・クライバーの名前が即座にうかんできます。彼等には仕事を越えた尊敬と愛

情と親しみを常に持ちつづけています。クライバーは今年三月、ウィーンフィルの一五〇周年コンサートで来日します。また一九九四年にはウィーンの国立歌劇場来日公演で彼が最も得意としている「バラの騎士」と「こもり」が上演される計画があります。確かにクライバーは芸術家特有のテンパメントな性格と気むずかしさを持ちあわせてはいますが、実際はシャイでとても人間的な人です。そして彼の創り出す音楽は他に比類のない素晴らしいものです。私自身もその喜びを音楽ファンの方達と共有出来るしあわせをいつも望んでいます。そのためにも、私達が本年から一九九五年まで四年間にわたって開催する世界オペラ・フェスティバル(一九九二年英国ロイヤル・オペラ、一九九三年ベルリン・ドイッツ・オペラ、一九九四年ウィーン国立歌劇場、一九九五年ミラノ・スカラ座)に御期待と御協力を願う次第です。

(財)日本舞台芸術振興会
製作プロデューサー

ヨット部全国優勝!

—母校から—

水崎雄文(S30卒)

昨年十一月の近畿修猷会総会で佐藤会長から思いがけないご指摘をいただいた。平成二年発行の同窓会名簿から計算すると、同年の修猷館教職員の在勤平均

年数はわずかに四年八カ月でしかないとのことである。母校に勤務する私も、最近の人事異動のめまぐるしさに驚いていたのだが、これほどまでとは考えていなかった。卒業して数年もたつと、母校に恩師の姿はみられず、他校を尋ねなければならぬという状態が現況となりつつあるようです。この良し悪しは別にして、昔の修猷館では考えられなかったことです。卒業生にはさびしい限りだと思います。

ところで母校の近況ですが、学校周辺の交際は年を追って激しくなり、百道浜埋立地から西新町へのメイン道路となった修猷館東側道路の車の往来はひどいものです。校舎のすぐ横でも

あり、学校には迷惑なことですが、こんなことなら埋立地の博覧会跡地に移転しておけば良かったのではないかなどと考えてしまいます。でも生徒はくつたなく学校生活を楽しんでます。

修猷館の大学進学状況は最近やや停滞気味といわれていますが、本年度のビッグニュースは、石川国体ヨットレースで三年生の石橋・岩田組が優勝したこと

です。修猷館ヨット部は昭和十六年に創部され、高等学校では全国で一番古いヨット部とされています。その五〇周年を飾るにふさわしい快挙でした。昔とちがって、スポーツ競技が特定学校の独占物となりつつある現在では、進学校が全国優勝をす

るということは並み大抵のことではありません。それだけに素晴らしいことでした。文武両道は修猷館の伝統であり、いたずらに文に溺れず、武にかたよることなく、情操豊かな幅広い有能な人材を政治・経済・学術・芸術の各分野に輩出させてきたのが過去の修猷館の歴史でした。それだけに今回のヨット部全国優勝という快挙をバネとして、もう一度文武両道とは何かをスポーツに限ることなく考えてみたいと思っています。これから修猷館の大学予備校化だけは避けたいものです。

昨年五月三十日の創立記念日講演会では、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏(昭和三八卒)

株式会社 トキヨ・アソシエーツ

- ・内部政治情報サービス
- ・海外向けPRサービス
- ・翻訳&同時通訳サービス

代表取締役 黒宮時代(S41)

〒173 東京都板橋区小茂根1-32-16-203

TEL 03-3554-9640/FAX 03-3530-9575

FOR.A®

INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

代表取締役

清原慶三

株式会社

〒108 東京都港区高輪2丁目20番34号
TEL 03-3446-3121(大代表) FAX 03-3446-4451

株式会社 プロセスサプライ

- ・ソフトウェアの開発受託
- ・CAD図面&データ作成
- ・ソフトウェアツールの開発

代表取締役 谷脇竹治(S41)

〒210 川崎市川崎区宮前町 8-15 301

TEL 044-246-0871/FAX 044-246-0872

'91 総会報告

幹事長 長野倬士

平成三年度東京修猷会総会は、六月二十九日に昭和四十年卒の諸君が幹事学年となり、前年と同じグラントパレスで開催されました。

森田澄夫氏(昭和四十二年卒)の指揮による館歌斉唱、松尾会長の挨拶、宮川副会長により物語者への挨拶がなされ、次いで事業並びに決算報告、事業計画と予算案が、いずれも満場一致で承認されました。

また、松尾会長が今期限りで辞任され、後任に有吉新吾氏(昭和四十四年卒)が選任されました。有吉新会長からは別表の通りの新役員が指名され、新執行部が発足することとなりました。

福岡からは、本部の竹村茂昭会長、桑原敬一市長、吉田秀男館長をはじめ多数の来賓のご出席もいただきました。

平成三年度の総会は向野元生氏(T9)の議長のもと、六月二十九日に開催され、満場一致で、有吉新吾氏(S4)を東京修猷会同窓会会長に推戴し、新会長は新幹事長に長野倬士氏(S29) 外副幹事長、書記及び相談役、顧問等を夫々の人に委嘱され、次に旧役員に対し鄭重なる謝意を述べられ、新しい若い時代の人々の運営に期待する旨の挨拶をされました。

懇親会は、『質実剛健』をモットーに手作りの懇親会として工夫がなされ、初の試みとして職業別にテーブルが設置されていました。これは、先輩後輩の縦型交流を促進するきっかけの場として考えられたもので、年齢差を越えた会話が生まれ楽しい一時が持たれました。

また、昭和四十年卒の『東京修猷しつと会』による手作りビデオ『修猷、わが心のふるさと』が上映されました。『我々が青春の一時を過ごした修猷館とはどんな学校だったのか』、『今どうなっているのか』をテーマに、母校の昨今の様子や恩師OBの方々のインタビューもあつて大変面白い作品でした。

このビデオは総会参加者全員にお土産として配布されました。そして、最後は吉田貞之君の音

頭による応援歌で締められました。実行委員長の田中俊雄君をはじめ昭和四十年卒の皆さんのおかげで立派な総会が開かれたことに心から感謝します。本当に御苦労様でした。

◆新役員◆

会長 有吉新吾(S4卒)
副会長 宮川一二(S12卒)
監査役 野上三男(S20卒)
相談役 向野元生(T9卒)
松尾金蔵(S4卒)
顧問 宮野正四(S8卒)
隈部 洋(S15卒)
幹事長 長野倬士(S29卒)
副幹事長

中尾大三(S30卒)
阿部公明(S31卒)
平野照幸(S32卒)
水野 務(S34卒)
本多浩子(S39卒)
田中俊雄(S40卒)
高橋 章(S41卒)
黒宮時代(S41卒)
伊佐 裕(S44卒)
田中まづる(S45卒)

○同窓会事務所の設立

(測上貫之氏S26 事務所約七年間 無償借用)

○パソコン設置による事務の機械化(担当中沢郁子氏S29)

(「香崎温子氏S33」を実施され、会費納入者も約四八〇名から約一一〇〇名に増加

有吉新会長をお迎えして

副会長 宮川 一二

し、福岡に於ける同窓会本部の総会には、当支部より毎年出席する慣例も作られ、会長としては最長期間努めて頂き、改めて厚く御礼を申し上げます。

新会長有吉新吾氏は福岡県人会副会長他多くの公職を辞任され、御夫人の看病に努めておら

長任についておられます。かつてはノモンハンに出征され足に負傷を受け戻られております。尚、毎月開催されている二木会ですが同会は、昨年末で三九六回を数えており、時機に適した議題及び講師の方があれば、自薦他薦を問わず、二木会担当

19)の自宅、または測上貫之氏(S26)の事務所を無償で提供を受けた様なお知らせは、それなりの出費が伴いますので、会費納入者の増大に努め、同窓会の基礎を不動のものとするためにも、未納入者約四〇〇〇名の方々の、くれぐれも納入をお願い

次に幹事長は
M四一 吉鹿 善郎(世話役)
T八 秋山 雄之助
S三 鷹取 至
S一八 尾崎 博
S五 坂本 一敏
S二 宮川 一二
S一五 桑原 敬一
S一六 一万満州
S三 伊岐 和雄
S二六 測上 貫之

以上

毎月、原則として第二木曜日に開催される東京修猷会二木会も、平成四年四月度の定例会をもって第四〇〇回を迎えることになりました。

永々として築き上げてこられた先輩方のご努力に今更のよう

に感謝し、敬意を表す次第です。二木会では、毎月、同窓生の中から、スピーチをやって頂くかたをお願いし、そのお話を中心に和やかな雰囲気の中で、大先輩から卒業までもない若手まで世代を越えたコミュニケーションが行われています。

スピーチのテーマも、『湾岸戦争』や、『宮沢政権の誕生』といった時局をとらえたテーマから教育問題や、健康管理の話題など、自分自身や家族の日常生活に直接関与する話題まで、幅広く取り上げられています。

スピーチをして下さる同窓生の方々の活動分野を知るにつけて、修猷館の同窓生がいかに世の中の広い分野で活躍しているかを知ると共に、自分達がその一員であることの誇りと自信を得る

場として、二木会の果たす役割は大変大きい気がします。

社会が大きく変化し、今まで社会人として生きていく上で、支えになっていた価値観さえもが揺らごうとしている今日この頃、少しでも世の中の流れを正しくつかみ、積極的に活動していくためには、幅広い情報収集が欠かせません。

二木会が、そのような情報収集の場として、少しでも同窓生の役に立てよう、これからも意欲的に活動して行きたいと考えております。



昨年度の二木会に於けるスピーチのテーマは次の通りです。
▽一月 伴拓郎 S34年卒
日本興業銀行調査部長

九一年の経済金融動向

▽二月 筑紫勝磨 S40年卒
大蔵省国際金融局国際資本課長
わが国の直接投資政策について

▽三月 橋崎弥之助 S13年卒
衆議院議員
最近の政治情勢について

お知らせ
二木会への出席のご案内は、東京修猷会の年費を納付された方に自動的に毎月送付されます。出席の際の会費は三千円(食事代込み)です。

▽七月 鳥巢建之助 T14年卒
海軍戦史研究家
アメリカ海軍最大の悲劇「原爆運搬艦の沈没と回天作戦」
▽九月 伊藤正孝 S30年卒
朝日新聞社編集委員
湾岸戦争後の湾岸状況
▽十月 藤島まり S40年卒
公文式教室主宰
学ぶ楽しみは、子供も大人も同じ！
▽十一月 原田義昭 S38年卒
衆議院議員
自民党新政権と今後の政治課題



平成2年度修猷館同窓会東京支部会計報告

目

平成2.4.1

至

平成3.3.31

1. 通常収支の部

通 常 支 出	金 額	通 常 収 入	金 額
事務通信費	622,913	2年度会費収入	3,429,000
会議件費	352,168	寄付金収入	471,450
事務人用品	115,750	銀行預金利息収入	9,219
事務用タンス	2,720	有価証券配当収入	731,313
コンピュータ関連費	332,653		
什器備品	14,832		
慶弔費	30,000		
振替郵便手数料等	36,909		
雑費	185,670		
有価証券配当金租税	120,731		
二木会補助金	915,073		
会報発行引当金	1,000,000		
通常収支剰余金	911,563		
合 計	4,640,982	合 計	4,640,982

注：2年度には会報発行が遅れたため、その経費を引当金として計上。

2. 特別収支の部

特 別 支 出	金 額	特 別 収 入	金 額
名簿関係費	30,790	名簿売却収入	172,200
特別収支剰余金	758,334	総会剰余金収入	616,924
合 計	789,124	合 計	789,124

日興不動産株式会社

代表取締役 吉田 貞之(昭和40年卒)

〒160 東京都新宿区西新宿8-20-2

(アイリスビル6F)

☎(03)3371-1175(代表)

FAX.(03)3371-1176

♪企画・制作・演出 ♪音楽芸能者派遣
♪ピアノ・エレクトーンの販売、リース、レンタル
♪アーティストの育成

有限 サンピアノ社

代表取締役 磯 悌 爾(昭29年卒)

〒108 港区高輪3-23-14シャトー高輪902

TEL3440-0619 FAX3449-0750

☆高級陶器・クリスタル販売☆

ナルミボンチャイナ特約店

お祝品など気軽に御相談下さい
予算に応じて配慮いたします

芙蓉トレーディング株式会社

代表取締役 篠 田 英 雄

東京都練馬区春日町1丁目4番3号

☎03-3970-6228

学年だより



(昭和十二年卒)

東京修猷会だより：昭和十二年卒の全体クラス会は、福岡・関西・東京の持ち回りで、昨年は東京の当番だった。たまには熱海の温泉旅館で寛ぎ、枕を並べて一泊もよからうと企画したところ、二十九名(内夫人同伴七組)の参加を得、一夜の歓を尽くして、翌朝は伊豆箱根へと足を伸ばし好評だった。

今年福岡で五月に、『ホテル海の中道』で行う予定の由。ところで、新年早々、高岩和雄君が長期に亘る闘病の末、突然に召された。彼は国際技術交流の泰斗で、晩年博士号を取ったほどの努力家だった。二木会でも何回か講演してくれたし、ご存知の方も多からう。心からご冥福を祈る次第。(片桐貞夫)

(昭和十三年卒) わが修猷五十周年(東京支部)は、定例会を十一月に開催。大阪の間も参集され出席者十四名。更に高村君の配慮により隔月に昼食会を催し旧交を暖めてきた。平成二年の秋の叙勲で高村、大島両君が、平成三年の春の叙勲で前田正裕君が、それぞれ受章されたことは、同慶の至りである。しかし、病臥中の吉野道夫君が平成二年十二月七日逝去。更に小川二生君が平成三年七月四日急逝されたことは、痛恨のきわみである。両君の御冥福を祈念してやまない。

(小川浩正)

(昭和十四年卒)

五十一回卒業の私達にとつて昨年は古稀を迎えた年になるので、九月十三日に佐賀県唐津市で同期会の総会が開催された。当日は希望者が二丈カントリークラブでゴルフ会、夕方から全員が唐津シティホテルに集合して懇親会を開き、東京からも参加して大変盛況でした。

東京修猷会今年度の行事としては、九月に懇親会(新橋あかね、四月と十一月にゴルフ会を予定していますが、日時及び場所は追って連絡します。元気で再会するのを楽しみにしていますから、奮って参加して下さい。

(野村俊雄)

(昭和十五年卒)

満月会の満月は十五夜の月、昭和十五年卒業の仲間です。首都圏の在住者約三十五名。東京では、毎年一月、福岡市長の桑原敬一君を交えて、新年会を開催しています。

福岡の本部では、満月会の集会所(IDKのマンション)一室を持っています。そこでは月例会等の会合を開くほか、クラスの仲間の楽しい交歓の場となっています。基盤、マージャン台も備えてあり、先輩たちも参加されるなど賑やかです。

◎満月会 福岡市中央区白金一
——オークマン
シヨク六〇五号室
☎〇九二五二二一五三三
(高川正通)

祝卒業五〇周年

(昭和十七年卒)

われわれいそしめ会員にも卒業五十周年がめぐってきた。その記念同窓会が本年五月二十三日(土)に福岡国際ホテルで開かれる。東京支部からも大勢が参加し、往年を偲んで語り合い、またお互いの健康を喜び合いたいものだ。

奇数月の第三土曜日夜、同

期の有志十人余が吉祥寺の王将という店に集まって愉快に歓談するのになつていく。会費はその都度割勘で五千円程度。都合のつく人は随時参加していただきたい。出席の連絡、会場への道筋問い合せなどは会長の林健児君または私にお電話がたい。

(島田栄治郎)

(昭和十九年卒)

東京修猷五十六会、現在東京近郊に四十七名が在住し、年に一二回懇談会を開いています。平成三年は、二月十三日に、ふくおか会館(半蔵門)にて実施、福岡から山内信治君、財部一雄君が、近畿から下村大也君、富田稔君が参加し、計二十名が出席愉快な一夜をすごしました。

(二村健次郎)

(昭和二十五年卒)

我々の同期生はこの三月で全員還暦を過ぎてしまふ。定年や勇退で悠々自適の第二の人生を過ごす仲間も増えてきた。東京支部では毎月第三土曜日に「三木会」を開いているが毎回十名から十五名が参加、歓談のひとときをもっている。ゴルフ会も二、三回開催、懇親を深めている。

平成四年二月十三日には、二木会で塚本孝君(歴史民俗博物館館長)が講話をし、また三月八日(日)には、恒例の東京修猷五十六会を、ふくおか会館で開催致します。今回は特にウィークデイが忙しい方にも、出席できるように日曜日としましたので、多数の参加を期待しています。

(岩本博康)

(昭和二十一年・二十二年卒)

(破竹会)

日米開戦五十周年も過ぎ、日本は経済大国になり、ソ連は解体し、民主化の道を模索する。皇国の勝利を信じ「彼の群小」を紅顔絶唱した少年達も還暦を過ぎる。

昨年は九月二十八・二十九日、破竹会の総会を東京・浅草で行う。集える健児七十人。諸行無常とは言え、変らざるものは若き日の友の情と熱。同期の者よ。今年は福岡。体調、仕事の予定等自己管理され

ること。近々体調不良や増す傾向あり。注意肝要。

(花田義之助)(野村輝彦)

(昭和二十三年・二十四年卒)

東京六〇会は、平成三年六月東京修猷会総会の際、グランパレス別室で行った。主賓には、青大将コト大野先生をお招きして、久しぶり先生のお話をしめじみ拝聴できた。参会者十七名、世話役として便利なので、許されるなら今後もこの方式でいきたい。

六〇会、大山修一を会長に二村、月成を副会長にした、いつも参加者全員が幹事になる、六道会旅行も、回を重ねる毎に愈々活発。皆さんの参加を期待して。

(二村健次郎)

(昭和二十五年卒)

我々の同期生はこの三月で全員還暦を過ぎてしまふ。定年や勇退で悠々自適の第二の人生を過ごす仲間も増えてきた。東京支部では毎月第三土曜日に「三木会」を開いているが毎回十名から十五名が参加、歓談のひとときをもっている。ゴルフ会も二、三回開催、懇親を深めている。

平成四年二月十三日には、二木会で塚本孝君(歴史民俗博物館館長)が講話をし、また三月八日(日)には、恒例の東京修猷五十六会を、ふくおか会館で開催致します。今回は特にウィークデイが忙しい方にも、出席できるように日曜日としましたので、多数の参加を期待しています。

(岩本博康)

(昭和二十一年・二十二年卒)

(破竹会)

日米開戦五十周年も過ぎ、日本は経済大国になり、ソ連は解体し、民主化の道を模索する。皇国の勝利を信じ「彼の群小」を紅顔絶唱した少年達も還暦を過ぎる。

昨年は九月二十八・二十九日、破竹会の総会を東京・浅草で行う。集える健児七十人。諸行無常とは言え、変らざるものは若き日の友の情と熱。同期の者よ。今年は福岡。体調、仕事の予定等自己管理され

(昭和二十六年卒)

卒業四十周年記念の懇親会と慰霊祭を、博多山笠が行われていた七月十五日、全国から二百三十名が集い盛大に開催する。懐かしい先生の顔も多数見え四十年前にタイムスリップ。今年には還暦の年になる。今まで団結力を誇った大漫会も財政問題でかぎりがみえて来た。幹事の舵とり(会報の発行・会費の徴収・総会への動員)いかなので、情熱をもって取り組んでいるが、会員の仲間意識・連帯を盛りあげていきたい。東京修猷会の運営はもつと難しいものである。

(奥村秀郎)

祝卒業四〇周年

(昭和二十七年卒)

平成三年度の東京修猷二十七会は、平成三年十一月三十日(土)に本郷赤門隣り学士会分館で開催。出席者は、上京中の山藤馨君(九大工業部教授、東大教授兼任、久し振りに出席した大沢行助、大野晴彦、西崎喜雄の三君が総勢四十名、物故者(久家靖史君・日本原子力発電取締役・十一月十九日没。柴田幸司君・安川電機常務、八月没。)に黙禱の後、湿りがちなが懇談のひとときをすごした。なお、久家英子夫人も出席。二次会は恒例の同級生高原節子さんの池袋「二つの部屋」で。

私どもの学年は、平成四年三月で卒業四十周年で、六月六日(土)に由布院「山水館」で記念クラス会を開く予定である。

(福田純也)

(昭和二十八年卒)

毎年二月の第一日曜日に東京修猷会(二十八卒同期会)を新宿の住友ビルで開いています。関東地区には百二十名ほど在住しておりますが、そのうち四十名の方々が例年出席しています。日曜日の昼食中心の集りのせい

か女性が多名以上は出席しています。もちろん福岡では十月にゴルフを兼ねて同窓会が開かれており五十・六十名が出席しています。来年一九九三年は卒業四十周年にあたります。三十周年は福岡で盛大に開催し、三十五周年は京都で行いました。年令も五十七才となり退職や出向など、やや現役から引きつつありますが、食料事情が悪い時期に育ったにもかかわらず皆さんまだまだ健康で元気です。四十周年の同窓会をどこでどのような内容でやるかと目下アイデアを募集中です。(松尾正弘)

(昭和二十九年卒)

一、平成三年九月二十一日・二十二日の両日、一泊二日の日程で、平泉の中尊寺、同毛越寺、鳴子峡、元仙台藩の藩校「有備館」を見学した。参加人員二十三名(内婦人八名)であった。今回の旅行では、長野県士君に企画もふくめて、大変お世話になった。深謝。

二、平成三年十月十八日、新宿住友ビル四十七階の住友クラブで総会を開いた。福岡から本部の会長大橋一弘君が駆けつけてくれた。参加人員は四十一名であった。百万ドルの夜景がみえるこの会場の世話は、岡村祥三君である。多謝。

(昭和三十一年卒)

三、平成四年度幹事は、田中穂積、川原裕、高木道子、中沢郁子の諸君に決まった。(坂田弘)

十月二十六日、関東、近畿から夫人同伴参加を含め四十三名が東急ハートストクラブ浜名湖へ集合、夜のパーティーと翌日は折悪しく雨だったが、観光組、ゴルフ組に別れ、それぞれ楽しい一日を過ごした。一泊旅行はこれで三回目、早くも次回を楽しみにしている。十二月一日は故山内豊徳君の一周忌、どげんしよる会から十八名が列席故人の冥福を祈った。十二月三日は忘

(昭和三十三年卒)

年会、ふくおか会館に四十三名集い旧交を温めた。途中から山崎建設大臣も参加、近況を語り全員より熱い激励を受けた。

(昭和三十一年卒)

昨年(平成三年)は卒業三十五年を迎え、在博多組の大変な努力で、嬉野温泉で同期会が開かれ、全国から百二十名の参加があり、楽しい一日をすごすことができました。

これからも節目ごとに、皆の元気を確かめあうことを誓い合いました。その時のビデオができておりますので、ご入用の方は小生までお申し付けください。

(昭和三十三年卒)

平成三年度、東京三二会は昨年十月十九日(土)、吉永君が世話をしてくれた会場に三十余名の同期生が集まり、盛會裡に飲み、語り合いました。大阪から岡部君が特別参加し、楽しい挨拶がありました。

大阪地区同期生諸氏のお骨折りで、卒業三十五周年記念大会が計画中です。平成四年七月四日(土)パーティー、五日(日)奈良方面の見物という内容です。各地区から同期生が参集すると思いますが、東京三二会から五十名は参加して欲しいとの要請を受けています。皆様には資金の準備とスケジュールの確保をお願いいたします。よろしく

(昭和三十三年卒)

昨年、同期の平田胤寿君と杉原文夫君が亡くなりました。ご冥福を祈ります。転出入等移動がありましたら、お知らせ下さい。

会社〇三三三六五九〇七一
自宅〇四四四九五五五四六四六
(国分英臣)



鈴善株式会社

代表取締役 平野 熙 幸 (32年卒)

本社 〒101 東京都中央区日本橋小舟町1-12
秋葉原営業所 〒101 東京都千代田区神田佐久間町2-5
大宮営業所 大宮市西區南細江1-12-202
仙台営業所 〒980 仙台市青葉区中央2-1-15 渡富ビル401

☎東京(3661)8611代表
FAX 03-3661-1370
☎東京(3863)1286代表
FAX 03-3863-1267
☎大阪(541) 9290代表
FAX 06-541-8658
☎仙台(263) 4451代表
FAX 022-263-4450



〒810 福岡市博多区中洲2-6-23 コウワビル1F

phone 281-4836

291-4636

■事務所

〒810 福岡市中央区荒井3-3-48-1001号

phone 715-9254

■営業時間

5:00 pm ~ 2:00 am

■定休日 日・祭日

九州郷土料理



YUKUN SAKAGURA

八重洲店 東京都中央区八重洲4-14-14 電話(03)5561-1111
銀座店 東京都中央区銀座2-27-18 電話(03)5561-1111
新橋店 東京都中央区新橋1-15-15 電話(03)5561-1111
赤坂店 東京都港区赤坂1-15-15 電話(03)5561-1111
電話(03)5561-1111

海外だより

一九八一年十二月に香港に赴任して早いものでもう十年が過ぎた。当時は一九九七年の租借期限後香港がどうなるかについて、もまだ遠い将来の問題として、差し迫った現実感は無かった。中国はそれまでの閉鎖国家からようやく対外的に開放されつつあった。今では高層ビルが林立し人口五十万の大都市に発展した深圳経済特区もアヒルがどかに泳ぐ一面の田園地帯で、国境を接した香港側の小高い丘には、竹のカーテンの向う側を一目見ようと連日大勢の観光客が押し寄せた。香港は中国にとり雑貨や農産物を輸出して外貨を稼ぐ主要拠点であり、また自由世界に向けて開かれた唯一の窓であった。今では香港に対する投資額で中国は日本・米国を抜いて第一位となり、香港企業にとって深圳や周辺の閩東省南部は生産拠点として四百万人近い労働者を雇用するに至っている。このような相互依存の強い関係が出来上がったにも拘らず、香港人の中国に対する不信感は根強く、外国籍取得の為の移民や資産の海外移転が引続き行われている。中国での共産革命で香港に逃れて成功した企業家達も次第に第一線を退いているが、二代目は父親の苦境を聞いて育つており、また文章の洗



れた文章の洗練を受けた人達も多い。彼等が中国返還後の香港の将来を必ずしも樂觀視しない気持ちも分らぬではない。然し、考えてみると香港は元来利益追求の場として多くの人に企業家として腕を振る「舞台」を提供してきた

近づく1997年

—香港だより—

大矢 高暉(S31卒)



のではなかったか。舞台装置—弁護士、会計士、低税率、交通・通信の便宜性等々—がこれ程完備し手帳に使える処は世界中にな。役者—企業家—は演技を終え—金儲けをして—舞台を去りまた新たな人が登場する。香港はそ

のような性格の処であろう。香港の中国返還に係る中英協定で中国は返還後五十年香港の現制度の維持を約束し「一国二制度」を公言した。ソ連邦の崩壊を中国首脳はどう受けとめているだろうか。中国は社会主義国家建設のスローガンはまだ高々と掲げており、社会主義革命を生命を賭して戦った現指導者の下でこれが大きく変わることはない。然し、中国は開放経済政策下で市場原理を既に導入しており、現実経済に資本主義的色彩が次第に濃くなることは否定できない。ソ連経済との一番の相違点である。社会主義国家建設の「スローガン」と経済の実体は次第に乖離が大きくなるであろう。指導層の世代交替がこれに重なるであろう。ともあれ中国人は現実的で弾力的対応力に優れた民族である。今ソ連・東欧で起りつつある歴史の流れに重ね合わせて今日の香港人の中国返還後に対する懸念は返還までに解消するかも知れない。将来に亘つての香港の繁栄はむしろ植民地末期の世相の乱れを防ぎ返還当初の混乱をどうスムーズに乗り切るにかかっていると言えよう。この十年間このダイナミックな国際都市香港に勤務できたことは得難い体験であった。



ブラジル事情

鹿子島 正孝(S41卒)

私は一九九一年三月まで約十年ブラジルに駐在しました。

ブラジルは地球の反対側にあるので、日本とは反対のことが多くあります。時差は十二時間あります。まず季節が反対。家も北向きが日当たりが良いことになり、北へ行くほど暖かです。夜の月は日本で見ると逆さまに見え、車も右側通行、車社会のため、人よりも車優先、のんびり車道を横断しようものなら運転手が顔を赤くして怒鳴ります。

日本におけるブラジルを代表するイメージの中で「カーニバル」や「サッカー」は妥当だと思いますが、「ジャングル」は日本のテレビ、雑誌等によるブラジル紹介がアマゾンジャングルの地帯に偏向しているため、全体が熱帯雨林の様な気候風土と誤解されていると思います。

ブラジルの中・南部はアルゼンチンのパンパから続く牧草地帯や穀倉地帯で、南部では四季もあります。また、欧米や日本から資本が投下されており、南米第一の工業国でもあります。余り知られていませんが、GNPはカナダに次いで世界で八番目の経済大国なのです。最近のブラジルで世界的なことは「超債務国」であるということではないでしょうか。対外債務については、最近では微増の状況ですが、超インフレはいまだにブラジルの「文化」として定着した感があります。

政府は、超インフレを抑えるべく物価・給与の凍結等の諸政策を実施していますが、国民はインフレとの共同生活を待ち望んでいるかの様に行動し、政府の諸政策は悉く失敗しています。元々、インフレの元凶は公共赤字に有るのですが、赤字の削減は特権階級の見直しで有り、不可能に近く、超インフレは当分なくなりそうにありません。しかし、広い国土と豊かな天然資源に恵まれ、人々はおおらかで、のんびりしています。「自分の将来は神様だけが知っており、神様が望めば良くなるだろうし、望まなければ悪くなるだろう」と全ては他人任せ。せつせと働く日本人から見ると、歯がゆい気はしますが、物質的には恵まれてはいても「ゆとり」のない日本人の生活と比較した場合、一概にインフレに苦しむブラジル人の生活が貧しいとは言えない気がします。



Carnival

イラスト

高橋登世子

(S39卒)

編集後記
「幸福への道」六箇条
▽感謝して真剣に努力する人
▽義務も責任も進んで果たす人
▽時間を守り礼儀正しい人
▽常に反省して素直に過ちを認める人
▽何事も善意に理解する人
▽夢と希望に笑顔で生きる人
「不幸への道」六箇条
▽たえず不満や愚痴の多い人
▽やる気がなくよくサボる人
▽無責任で法規を守らぬ人
▽時間も物も無駄にする人
▽カケ口が多く人の和を乱す人
▽心が狭くすぐ腹を立てる人
(照)

▼こういうのを「活字中毒」とも言うのであろうか。読みたい時にいつでも読める本を必ず一冊は手元に置いておかないと安心できない。会社まで電車で十分、車内で読むという程の時間は無いのにバッグに文庫本を忍ばせる。新聞はもとより折込みのチラシも結構丹念に読む。
こういう具合だから、同窓会の会報でも届こうものなら一面から編集後記まで無熱心に読む。だがしかし立場が替わってようやく気がついた。会報を作るということはこんなに手がかかるものか。書くということがいかに難しいことか。原稿を依頼されてしまった方々、修猷健児の心意気、断れば男がする、女がする、と心をこめて書いて下さった。ただただ感謝。また写真やイラストをお寄せ下さった方、広告の出稿にご協力いただいた方、関係者の皆様本当にありがとうございます！

(浩)

平成4年度東京修猷会総会御案内

本年の総会は、今注目のベイサイド、舞浜の東急ホテルで開催します。総会の後、家族と夜のディズニーランドも楽しめます。毎年1度のこの機会に家族ぐるみで旧交を暖めようではありませんか！ 皆様の御参集をお待ちしています。

- 開催日 平成4年6月6日(土曜日) 午後4時～6時
受付開始 午後3時 開場: 3時30分
- 場所 東京ベイホテル東急 インペリアル・ホール
千葉県浦安市舞浜1-7 ☎0473-55-2411
- 交通 JR京葉線舞浜駅より無料バス5分
(東京駅から快速15分)

- 会費 一般 10,000円
女性 7,000円
学生 5,000円

(なお、昭和20年の年組までの御卒業の方と、本年3月の卒業生は、御招待させていただきます。)